

平成18年度事務事業評価表

担当	消防本部	通信指令課	内線等	99-3002
----	------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	消防テレガイド事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	災害情報を必要とする市民が
手 段	通信指令課に設置された、着信専用電話に電話することにより
想定する成果	災害状況・防災情報を知ること、市民の安全の確保、被害の軽減を目指す。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
年度受付数	8,935回	8,490回	
1日最大受付数	298回	259回	
情報提供数	148回	156回	

成果指標

成果指標名	1 災害情報当りの平均受付数	
成果指標の説明	年度受付数/情報提供数	

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			
	実績	60.4回	54.4回	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	102	96	100
	人件費	804	778	789
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	906	874	889
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	906	874	889

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	3	2	2	災害等の情報は概ね伝えることができている。
経済効率性	3	3	3	3	経費は着信専用のため、回線基本料金のみである。
事務効率性	2	3	3	3	簡易な操作により多くの情報が提供できる。
必要性	2	2	2	2	災害等情報提供するには、必要な事業である。
小計	9	11	10	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	情報を提供することにより、市民生活の安全確保に努めている。
合計	11	11	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	消防テレガイド装置は肉声で録音する為、情報提供と問合せにタイムラグが生じることがある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度から着信回線を3回線から5回線に増設し、市民からの問合せに対する話中状態の解消を行った。	

今後改善すべき点

消防庁舎移転新築に併せ、通信機器の更新が予定されていることから、提供情報自動登録を検討していく。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	消防本部	通信指令課	内線等	99-3002
事業コード		事務事業名	緊急通報センター装置による受信対応事業	
根拠法令等			A 法令 B 条例 C 規則 D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	おおむね65歳以上の独居世帯及び高齢者のみの世帯で、身体が虚弱等のため、緊急連絡網が必要と認められる者が
手 段	緊急通報装置を利用することにより
想定する成果	通報者の住居場所・名前・電話番号等瞬時に表示され、迅速に事故発生場所に出動させる。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
装置設置数	653ヶ所	681ヶ所	731ヶ所
年間受付回数	348回	412回	
緊急出動回数	33回	84回	

成果指標

成果指標名	1 通報装置当りの通報件数	出動となる割合
成果指標の説明	年間受付回数/装置設置者数	出動回数/年間受付回数 × 100

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			
	実績	0.5件	0.6件	
成果指標	計画			
	実績	9.5%	20.0%	
事業費	事業費	3	3	4
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	2,416	2,338	2,371
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,416	2,338	2,371

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	2	2	緊急通報装置設置者からの通報を円滑に受信した。
経済効率性	3	3	3	3	通報場所が瞬時に決定できる為、受信業務が簡素化される。
事務効率性	2	2	2	2	誤ってペンダントに触れるなど誤操作がある。
必要性	3	3	3	3	高齢者が、非常ボタンを押すだけで出来る為、有効である。
小計	11	11	10	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	高齢者の福祉の要望に資している。
合計	14	11	13	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

誤操作による通報を防止する、取り扱い方法を指導する。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】